

## 第2学年A組 美術科学習指導案

場 所 大仙市立西仙北中学校 美術室  
在 籍 男子11名、女子17名、計28名  
指導者 教諭 田中 真二郎

### 1 題材名 「ふるさと再発見！ 季節を楽しむ創作和菓子をつくろう」

### 2 題材の目標

目的や条件などをもとに構成や装飾することに関心をもち、西仙北地域のよさや四季折々の美しさを基に創作和菓子の構想を練り、表現方法を工夫し、創造的に表現するとともに、目的や条件に合ったデザインとして調和のとれた美しさなどを感じ取り、自分の価値意識をもって味わう。

### 3 生徒と題材

#### (1) 生徒について

2年生への進級時に行った「学習アンケート」で美術が好きと回答した生徒は94.4%であり、ほぼすべての生徒が美術の授業に前向きに取り組み、色や形、イメージを通して楽しく学ぼうとする姿勢がある。1年時には、形や色についての基礎的な学習を行い、「自分らしさ」を視点に、自分なりの見方や感じ方を大切にするとともに、友達との視点や考え方の違いにも気付き、興味をもつなど、友達との交流を通して様々な発見をしたり影響を受けたりしながら造形活動を楽しんできた。

上記のアンケート以外で、美術の授業に関するアンケートを行ったが、全ての項目で肯定的な回答の割合が高かったが、「美術の授業が普段の生活でどのように生かされているか」の質問に対する記述を見ると、自分の生活を豊かにしていると実感している生徒は少なかった。そこで2年時には、より生活と密接に関わる題材を意図的に指導計画に配列し、伝統工芸品の鑑賞や模様表現の制作などに取り組みさせた。客観的な視点を基に、それぞれが意欲的に発想する様子が見られたが、身近な生活や環境のよさや美しさを主体的に感じ取ろうとする意識、活発に考えを交流して新たな視点を得ようとする意識はまだ低いように感じた。

また、生徒は日本の浮世絵の鑑賞やジャポニズムについて学ぶ題材を経験している。その中で、日本人らしさや日本人の美意識についてそれぞれが考えたことを共有してきた経験もある。

#### (2) 題材について

本題材は、A表現(2)ア、(3)、B鑑賞(1)アに関する資質・能力を高めることを目的とし、自分たちが暮らす地域のよさや美しさを地域に住む大人に感じてもらうために、美的感覚を働かせて形や色彩、材料などを組合せて構成や装飾を考え、創作和菓子の構想をしていくものである。

本題材で取り上げる和菓子も日本の伝統文化であり、五感の芸術作品とも言われ、諸外国でも高い評価を得ている。これまでに感じ取ってきた日本人の美意識、それぞれが感じているふるさと西仙北地域のよさや四季折々の美しさなどのイメージを基に、客観的な視点から、単純化したたり象徴的に表したりして、和菓子の形や色彩などを発想し、材料の特性と表したいものの形や色彩との調和を考えて構想するなど、総合的に表現の構想を練り、試行錯誤しながら表現を追求していくことが必要となる。また、それぞれが感じ取り、和菓子に盛り込んで表現した地域のよさや四季折々の美しさなどを多様な視点で捉え、思いや考えを伝え合う鑑賞の活動を通して、見方や感じ方をさらに広げ、自分の中に新たな価値、自分なりの地域像を生み出し、自分たちが住む地域に愛着や誇りをもてるようにしていきたい。

また、自分たちの住むふるさと西仙北地域の環境や季節の移り変わりなどにあらためて目を向け、よさや美しさを感じ取り、創作和菓子として表現する活動を通して、日本の美術文化や美意識について考えを深め、自他の感じ方を交流・共有する中で、新たな価値をつくり出す楽しさを味わわせたい。生徒の生き方に、美術で学んだ資質や能力が生かされていくことを期待している。

#### (3) 指導に当たって

題材の導入時には、多様な和菓子のカード、和菓子職人の映像、地元の和菓子職人がつくった本物の和菓子を鑑賞する活動を通し、五感を働かせて、和菓子とは何か、どんな役割をもつのか、その形や色彩で何を表現しているのかなどに気付くようにする。西仙北地域のよさや四季折々の美しさを和菓子に盛り込んで表現し、地域の大人にも鑑賞してもらうことを提案し、創作和菓子の制作へ意欲を高める。感性のアンテナを高く張り、和菓子で表現してみたいふるさと西仙北地域のよさや美しさを、景色や生活の中から見付けたり、これまでの生活経験から思い起こしたり、国語科で学んだ枕草子から着想したりしながら、それぞれに表したいもののイメージをもって意欲的に和菓子の制作に臨むようにしたい。

発想・構想の段階では、見方や感じ方を広げられるように、ワールドカフェを模したグループ活動を入れ、友達と視点や感じ方を共有できるようにする。西仙北の四季を視点にした共有シートに「見えるコト(風景、物など)」「見えないコト(気温、湿度、におい、味、雰囲気、感触、

音など感じること)」を話し合わせながら書き出し、出し合った「コト」から自分がイメージする色を色鉛筆でつけていく。その後、共有した情報を基に、客観的な視点で、形や色彩、材料などを組合せて構成や装飾を考え、美術ノートにスケッチやメモで構想し、自分がつくりたい和菓子のイメージを確かにしていくようにする。和菓子の表現や材料に触れながら、具体的にイメージしていけるように、前時に鑑賞した和菓子のカード、過年度の先輩の作品、材料や表現のサンプルなども提示しておく。

制作の段階では、多様な材料や技を提示しておき、自分がつくりたい和菓子のイメージに合うものを選択し、試したり組合わせたりして、試行錯誤していくようにする。制作中は同じような技を必要とする生徒同士と一緒に試したり教え合ったりすることを奨励し、それぞれのイメージを実現するための主体的な造形活動を展開していくようにする。また、適切なタイミングで客観的な視点を基にアイデアスケッチや制作中の和菓子を批評し合う活動を入れ、それぞれの今後の制作に生かし、より豊かな表現を追究するようになっていきたい。

制作後は互いの和菓子作品を鑑賞する活動を通し、それぞれがもつ地域のイメージや季節に関する視点を共有することで新たな地域のよさを感じ取り、味わい、自分にとっての地域像を考えるきっかけとしたい。地域の和菓子職人に依頼して、生徒作品の中からいくつか商品化してもらい、購買者から感想をいただくなどし、生徒へフィードバックすることも考えている。地域を見つめ感じ取ったことを表現した作品が地域社会に生かされたり、作品を通して地域の人々と交流したりすることで、生徒たちは美術が生活とつながる実感を得るのではないかと考える。

#### (4) 研究主題との関わり

**【西仙北中学校の研究主題】**

「分かる、できる、楽しいと実感できる授業の実践」  
 - 「つなぐを意識した学び合いを生かす授業の追究 -

**【美術科の研究主題】**

「自ら表したいことを見付け、豊かに表現する生徒の育成」

本校研究主題の下、言語活動の充実を図り、『つなぐ』を意識した授業づくりを目指してきた。生徒と生徒をつなぐ。生徒と題材をつなぐ。そして、美術と生活をつなぐ。この三つの『つなぐ』を意識して授業を組み立てていく。生徒一人一人が自分の考えをしっかりともち、言葉を使って友達と意見を交流することにより、自分一人では感じることでできなかったことや、気付かなかった価値に気付くことができるように、学び合う活動を入れる。造形に関する言葉を用いて自分の言葉で説明し合うことは、新たな視点や考えに触れる機会となり、見方や感じ方が広がり、様々な価値に触れることで、自分らしきが見えてくる。このことが、「自ら表したいことを見付け」ることにつながり、より高い表現欲求が生まれ「豊かに表現する」ようになると考えている。豊かに表現していこうとする姿勢は授業内に留まらず、自分の生活に生かされてこそはじめて力となる。指導に当たっては、より生活と結び付けた題材を構想し、生徒とつなげていきたい。

#### 4 本題材の評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<p><b>表現</b> ・美術の創造活動の喜びを味わい、目的を考えて表現することに興味をもち、主体的に造形的な美しさなどを総合的に考えて構想を練ったり、粘土や樹脂の特性を生かしたりしようとしている。</p> <p><b>鑑賞</b> ・美術の創造活動の喜びを味わい、和菓子を鑑賞し、生活を美しく豊かにする美術の働きに関心をもち、主体的に見方や理解を深めようとしている。</p>	<p>・感性や想像力を働かせて、西仙北地域のよさや四季折々の美しさ、もてなしの心を基に、形や色彩、材料の効果を生かして造形的な美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練っている。</p>	<p>・感性や造形感覚などを働かせて、粘土や樹脂などの特性を生かし、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫したり、制作の順序などを総合的に考え見通しをもったりしながら、創造的に表現している。</p>	<p>・感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、作者の意図と創造的な表現の工夫、目的と美しさの調和などを感じ取り味わったり、生活を美しく豊かにする美術の働きについての理解や見方を深めている。</p>

## 5 指導と評価の計画（7時間）

学習のねらい、学習活動 ●学習のねらい ・学習活動	指導上の留意点 ■努力を要する生徒への手立て	材料・用具等	評価規準【評価方法・資料】			
			美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<b>1. 和菓子との出会い（1時間）</b> ●和菓子の役割や表現の要素に気付き、よさや美しさを味わい、学習への意欲を高める。 ・様々な和菓子や茶会の様子などを鑑賞し、和菓子の役割や形や色彩で何を表しているのかなどについて考え、意見を出し合う。 ・地域のよさを言葉で出し合い、発想する際のヒントとする。 ・活動を通して気が付いたことや考えたことをワークシートに書く。	・多様な和菓子のカードや本物の和菓子、茶会の様子など幅広く鑑賞させ、様々な視点から考えられるようにする。 ・多様な見方や感じ方を受容し、発見や気づきを促し、生徒の意見を基に学習課題を導き出して、学習意欲を高める。 ・ワールドカフェを模したグループ活動を入れ、視点や感じ方を共有し、友達と話し合いながら発想を広げられるようにする。 ■既習の学習（浮世絵やジャポニズムの鑑賞、国語科の随筆など）と関連させて関心をもたせ、意欲を高める。	ワークシート 和菓子カード 茶会の資料 和菓子	◎和菓子の役割や表現に関心を持ち、よさや美しさを主体的に感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて見方や理解を深めようとしている。 【活動の観察・ワークシートの記述】			
<b>2. 表現の発想・構想（1時間）本時</b> ●西仙北地域のよさや美しさを基に表したい和菓子のイメージをもち、表現の構想を練る。 ・西仙北地域の四季を視点に、よさや美しさをイメージする。 ・スケッチやメモでイメージをまとめるなどして表したい和菓子を構想し、制作の順序や扱う材料等の計画を立てる。	・共有した情報を活用し、客観的な視点で形や色彩、材料などを組合せ、構成や装飾をしていくように助言する。 ■共有シートから自分もみんなもよさや美しさを感じていることを見付けさせ、形や色彩を視点に表したい和菓子のイメージをもてるようにする。	ワークシート 発想ノート 共有シート 色鉛筆 和菓子カード 過去の生徒作品 材料 サンプル 和菓子図案帳	◎地域のよさや美しさを和菓子に盛り込んで表現することに関心を持ち、主体的に表現の構想を練っている。 【活動の観察・ワークシートの記述】	◎地域のよさや四季折々の美しさを基に、美的感覚を働かせて、形や色彩、材料の効果を生かして構成や装飾を考え、表現の構想を練っている。 【発話・発想ノートのスケッチやメモ】		
<b>3. 技の追究・制作（4時間）</b> ●構想を基に自分の表現意図に合う表現方法を工夫し、創造的に表現する。 ・表したいイメージに合う材料や表現方法を選択し、試し、試行錯誤しながら制作する。 ・客観的な視点を基にアイデアスケッチや制作途中の作品を批評し合い、構想に改善を加えながら制作する。	・多様な材料や用具等を準備し、生徒が構想に応じて活用できるようにする。 ・同じような技を必要とする生徒同士と一緒に試したり、教え合ったりすることを奨励する。 ・互いの表現を批評し合う場を設定し、客観的な視点をもって自分の表現を確かめ、構想に改善を加えながら制作するようにする。 ■生徒の表現意図を聴き取り、材料の特性や扱い方について具体的に説明したり、参考になる友達の考え方や工夫点を提示したりして、発想を支援する。	ワークシート 動画資料 和菓子カード 過去の生徒作品 サンプル 樹脂粘土等 粘土ペラ等 水彩絵の具等	◎粘土や樹脂などの特性を主体的に生かし、表現方法を工夫しようとしている。 【活動の観察・ワークシートの記述】	○友達の見方やアドバイスを基に客観的な視点をもって総合的に美しくしようと表現の構想を練っている。 【発話・ワークシートや発想ノートのスケッチやメモ・制作途中の作品】	◎粘土や樹脂などの特性を生かし、表したいイメージをもちながら自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現している。 【制作の様子・制作途中の作品】	
<b>4. 和菓子の鑑賞（1時間）</b> ●作品を鑑賞し、よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り味わう。 ・作品票に自分の作品のタイトルや説明を書く。 ・和菓子としての作品のよさや美しさ、作者の意図と表現の工夫を視点としてお互いの作品を鑑賞する。 ・題材を通して、地域を見つめること、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えたことを学習シートに書く。	・視点を示し、自分の作品や友達の作品にじっくりと触れさせ、自分の見方や感じ方で作品を味わえるようにする。 ■形や色彩などの特徴や印象を具体的に捉えさせ、言葉にしたり、鑑賞シートにメモさせるなどして、感じ取れるようにする。 ・自己の変容に気付き、創造活動の喜びを味わえるように学習シートを工夫する。	和菓子作品 作品票 ワークシート	◎和菓子作品としての調和のとれた美しさ、作者の表現意図と表現の工夫などに関心を持ち、主体的に感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて見方や理解を深めようとしている。 【活動の様子・ワークシートの記述】			◎和菓子作品としての調和のとれたよさや美しさ、作者の意図と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わっている。 【発話・作品票・ワークシートの記述】

8 本時の学習（本時2／7時間）

(1) 本時のねらい

四季を視点にして西仙北地域のよさや美しさをイメージし、自分が表したい和菓子のイメージをもち、主体的に発想し、表現の構想を練る。

(2) 学習過程

段階	学習活動	形態	○指導上の留意点 ■努力を要する生徒への支援	◎評価規準 [評価の観点] 【評価の方法】 ・具体的な生徒の姿
つかむ 5	1 本時のめあてを確認し、見通しをもつ。	全体	○前時に学習した内容を確認する。 ・国語科の枕草子・和菓子の役割	◎地域のよさや美しさを和菓子に盛り込んで表現することに関心をもち、主体的に表現の構想を練っている。 [美術への関心・意欲・態度] 【活動の様子・美術ノートの記述】
広げる 20	2 共有シートや国語科の随筆などを基に、自分が表したい和菓子のイメージをまとめ、和菓子の形を発想する。 ・表したい和菓子のイメージをスケッチしていく。  ・鑑賞資料や材料に触れること、友達との会話など生徒の興味関心に合わせて生徒自ら選択して活動する。	個人	○学習の流れ、活動の内容等を説明し、本時の見通しをもてるようにする。 ○和菓子のイメージの根拠をメモするように伝える。 ■共有シートのどのような言葉に共感するかを聴いたり、生徒の生活から想起させたりして言葉を引き出す。 ○共有した情報を活用し、前時に確認した和菓子の役割や表現の要素を意識して、客観的な視点で形や色、材料などを組み合わせ、構成や装飾をしていくように助言する。 ○和菓子の資料や過年度の生徒作品、材料のサンプルなどを用意し、見たり触ったりしながら、主体的に構想するようにする。	・共有シートや資料を参考にしたり、材料に触ったりしながら表現の構想を練っている。
深める 20	3 和菓子を食べる人（消費者）を意識し和菓子のイメージを見つめ直す。 ・生徒の活動の状況によるが、全体で確認し合う活動を行う。  ・話し合いを基に自分のイメージスケッチを見直す。	個人	○教師の作例を見せ、改善すべきポイントを捉えさせる。  ■共有シートから自分もみんなもよさや美しさを感じていることを見付けさせ、形や色彩を視点に表したい和菓子のイメージをもてるようにする。 ■表したい和菓子のイメージを聴き取り、参考になる資料や材料を提示して見せ、形や色、言葉で表していくように助言する。	◎地域のよさや四季折々の美しさを基に、自分の表したい和菓子のイメージをもち、美的感覚を働かせて、形や色彩、材料の効果を生かして構成や装飾を考え、表現の構想を練っている。 [発想や構想の能力] 【発話・スケッチやメモ】
振り返る 5	4 本時の学習を振り返る。 ・活動の自己評価と次時の課題、気付いたこと、感じたことなどをワークシートに記入する。	個人全体	○何人かに発表してもらい、全体で学びを共有できるようにする。 ○感性のアンテナを高く張り、日常生活からよさや美しさを見付け、創作和菓子の制作へつなげていくように声をかけ、意欲を高める。	・前時に確認した和菓子の役割や表現の要素を意識している。 ・表したいことを形や色、言葉でイメージしている。 ・どんな材料でどのように表していくのかなどをメモしている。